

お手入れの仕方 感電防止のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

【 冷温水レバー 】

清潔なふきんやキッチンペーパーなどを少し濡らして汚れをふき取ってください。
(汚れがひどい場合は市販のアルコール系衛生剤で消毒してください)



●目安は1週間に1回

【 ボトル差込口、付近 】

ボトル交換時に、たまり水を清潔なふきんや乾いたタオルなどで必ずふき取ってください。ボトルを差し込んである時は清掃できませんので必ず行ってください。
(汚れがひどい場合は、市販のアルコール系衛生剤で消毒してください)



●目安はボトル交換時

【 本体 】

清潔なふきんや乾いたタオルなどで汚れをふき取ってください。また、水を含ませたスポンジや柔らかい布をよく絞り拭いてください。
(汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗浄し、洗剤分が残らないようよく拭いてください)



●目安は1週間に1回

【 背面部分 】

付着した綿ボコリなどを掃除機で吸い取った後、水を含ませた柔らかい布などをよく絞り拭いてください。



●目安は1ヵ月に1回

Q&A

Q 1 冷水が出ているのにお湯が出なくなりましたが故障したのですか？
A 1 故障ではありません。水が少なくなると温水から出なくなる設計になっており、ボトル交換の目安にもなっています。新しいボトルと交換してください。

Q 2 ボトルホルダー内の水が減ってきました。追加注文はどのようにしたらいいのですか？
A 2 お申込みをされた販売店へご連絡してください。

Q 3 使用済みボトルはどのように処理したらいいのですか？
A 3 必ずキャップ、容器を分別してゴミ出して下さい。キャップは燃えるゴミとしてお出しく下さい。ペットボトル容器は、リサイクルとして資源ゴミ・専用ゴミとしてお出しく下さい。



使用済みボトル

Q 4 長期外出をするのですが、このままの状態で大丈夫ですか？
A 4 20日以上外出される場合は、電源を切り、水を抜いて下さい。再度ご使用される場合は、新しい水を差してご利用ください。

故障かな!?と思ったら

修理を依頼する前に次のことを確認してください。

現 象	原 因	対 処
冷水にならない。	電源プラグがコンセントから抜けている。 ヒューズが切れている。 ブレーカーが落ちている。	コンセントに差し込んでください。 販売店へご連絡下さい。 ブレーカーを入れてください。
冷水ランプが緑色に点灯しているのに冷水が出ない。 (床置タイプのみ)	ボトルが空になっている。	多少ボトルに水が残っていても新しいボトルと交換してください。 (1ボトルに容量以上の水が充てんされています) 交換後40分しても冷えない場合は、販売店へご連絡ください。
お湯にならない。	温水スイッチが切(OFF)になっている。 電源プラグがコンセントから抜けている。 ヒューズが切れている。	温水スイッチを入(ON)にしてください。 コンセントに差し込んでください。 販売店へご連絡下さい。
温水ランプが赤色に点灯しているのにお湯が出ない。 (冷水は出ている) (床置タイプのみ)	ボトルに水がない状態です。 温水タンクには、約1.5リットル程度入っていますが、新しいボトルを差さないとお湯が出ない仕組みになっています。	多少ボトルに水が残っていても新しいボトルと交換してください。 (1ボトルに容量以上の水が充てんされています) 冷水が出ているもお湯が出なくなったら、ボトル交換の目安です。
ボトル交換後、冷水もお湯も出ない。	ウォーターサーバーのボトル差込口とボトルキャップの接続不備。	ウォーターサーバーのボトル差込口とボトルキャップをきちんと接続仕直してください。(中ページ 設置の仕方●を参照)
水が漏れている。	本体の内部・外部のいずれかから漏れている。 ●ウォーターサーバーのボトル差込口とボトルキャップの接続不備。 ●排水キャップがゆるんでいる。 ●ボトルの損傷。	先ずボトルホルダーを外し、電源プラグを抜いてください。 ●ウォーターサーバーのボトル差込口とボトルキャップをきちんと接続してください。(中ページ 設置の仕方●を参照) ●排水キャップがゆるんでいる場合は、締めてください。 ●ボトルに傷がある場合は、新しいボトルと交換してください。 ●販売店へご連絡下さい。

※上記以外で不明な点などがございましたら、販売店へご連絡してください。

仕 様

商 品 名	ウォーターサーバー床置タイプ(L)	ウォーターサーバー卓上タイプ(S)
●商品寸法(mm)	W340×D335×H1,080 (ボトルホルダー装着時 H1,380)	W340×D350×H560 (ボトルホルダー装着時 H860)
●重 量	約19.0kg	約17.0kg
●電動機消費電力	80W	100W
●ヒーター消費電力	350W	350W

●材質:●冷水タンク／SUS304 ●温水タンク／SUS304 ●前面パネル／ABS樹脂
●側面パネル／EGE ●冷・温水レバー／PP

●冷水タンク:3リットル ●冷水容量:6℃前後の冷水 20杯分
●温水タンク:1.6リットル ●温水容量:87℃前後の熱湯 11杯分
●定格電圧:AC100V／50～60Hz ●冷却方式:強制冷却式 ●ヒーター:バンドヒーター
●温度過昇保護装置:バイメタル(自動復帰型)

※製品改良のため、予告無く仕様を変更する場合があります。

取扱説明書 & 簡単設置マニュアル



容器は
使いきりです

卓上タイプ(ショート) 床置タイプ(ロング)

選べるウォーターサーバー



※製品改良のため、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

ご使用にあたって

警告

●水平な場所でウォーターサーバーが安定するように設置してください。
*振動や騒音・転倒の原因となります。



強制

●アースを確実に接続してください。
*感電・故障の恐れがあります。



アースを取付ける 感電注意

●キャビネットは、はずさないで下さい
*製品を分解して内部にさわると感電するおそれがあります。



ケガに注意

●温水は高温のため、火傷に十分ご注意ください。
*安全装置がありますが、お子様が温水レバーに触らないように注意してください。



ケガに注意

●必ずレバーを手で押しながらコップなどの容器で受けてください。
*コップなどの容器で直接レバーを押すと割れてケガをする恐れがあります。



ケガに注意

●ウォーターサーバーの清掃を行う場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。
*感電をする恐れがあります。



プラグを抜く

●電源はAC100V(50／60Hz)以外使用しないでください。
*火災・感電の原因になります。



禁止



この「取扱説明書」は、設置前に必ずお読みください

設置前によくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

安全上の注意(必ずお守りください)

〈記号と意味〉

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〈図記号表示の説明〉

	感電注意 警告、注意を促す表示です。△の中や周りに具体的な警告内容が記されています。
	接触禁止 ○に斜線は、してはいけない行為(禁止事項)を示す表示です。○の中や周りに具体的な禁止事項が記されています。
	アースを取付ける 必ずしていただきたい行為を示す表示です。 ●の中や周りに、具体的な指示内容が記されています。

本機は日本国内用に設計されています。規格の異なる海外では使用できません。

注意

●ウォーターサーバーが届いても1時間は電源を入れないでください。また、移動したときも同様です。
*冷蔵庫と同じで冷却触媒を安定させるための時間です。



注意

●ウォーターサーバーの背面と壁との間は15cm以上離して設置してください。
*熱がこもり機器の機能が低下する恐れがあります。



注意

●冷温水レバーの部分を持って移動させたり、持ち上げたりしないでください。
*破損したり、ケガをする恐れがあります。



ケガに注意

●ウォーターサーバーは室内専用ですので、直射日光や雨が当たらない場所に設置してください。
●ストーブなど熱源の近くや機器に水がかかる場所には設置しないでください。
*機器の変形・機能の低下・漏電の原因になります。



強制

●初回は冷水・温水タンクが満タンに給水するまでは電源を入れないでください。
*故障の原因になります。



禁止

●当社より配達されるボトルのみご使用ください。
*故障の原因になります。



強制

●電源コードの上に重いものをのせないでください。
*火災や感電の原因になることがあります。



禁止

全国発売元／株式会社 コスモライフ コスモウォーター事業部

安心・便利、選べる天然水!

ウォーターサーバーの名称と働き

卓上タイプ(S)

安全装置

温水は赤いボタンを押し込みながら、レバーを同時に押し込まないと注水されません。

温水レバー

温水用レバーと赤いボタンを同時に押すとお湯が出てきます。

冷水レバー

冷水用レバーを押すと冷水が出てきます。

水受け皿

冷水とお湯を受ける容器を置くスペース、取り外しができます。

排水キャップ

底面にキャップがあります。

床置タイプ(L)

冷水ランプ

電源プラグをコンセントに差し込むと緑色に点灯します。

温水ランプ

電源プラグをコンセントに差し込み、温水スイッチを入(ON)にすると赤色に点灯します。

※製品改良のため、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

背面

温水スイッチ(ON/OFF)

電源プラグをコンセントに差し込んだ後、スイッチを入(ON)にします。(温水タンクの水は約40分後、87℃前後のお湯になります)

(ON)は、入り
(OFF)は、切りの意味です。

電源プラグ

電源プラグをコンセントに差し込むと同時に冷却機能が作動します。(冷却タンクの水は約40分後、6℃前後になります)

※電源プラグは、給水後に差し込みます。(初回のみ)

ヒューズ

過電流などからウォーターサーバーを守ります。

排水キャップ

ボトルホルダー

上蓋

ボトルの出し入れのとき以外は、蓋をしておきます。

持ち手

ボトル

密閉シール

ボトルホルダーにセットするとき、必ずシールをはがします。

ボトルキャップ

アース取付位置
アース線
(接続用ネジ付き)

アース線

ドライバーでネジを緩めて、アースを取り付けて下さい。

★アースは、コンセントのアース端子部分に確実に接続してください。またご使用中の電化製品のアースと一緒に共有接続頂いても大丈夫です。ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線とは共有接続しないでください。

設置の仕方

①ウォーターサーバー、②ボトルホルダー、③ボトルは個別に配送されます。①②③がすべて揃ってから設置をしてください。必ず冷温水口から適水確認後、電源プラグをコンセントに入れて下さい。

1

段ボールからボトルを取り出します。



2

ボトルキャップの密閉シールをはがします。



3

ボトルの底部の取っ手で持ち上げます。



4

机など平らな所でボトルホルダーの開口部にはまるよう、垂直にセットします。



5

ボトルホルダーの持ち手を持って、ホルダーごとボトル差込口に合わせて垂直にセットします。(その際、ボトルホルダーのシールが正面に)



6

本来なら水の重みで差込棒にきっちり刺さるのですが、うまく刺さらない場合は横からブルー色のボトルキャップが見えなくなるまで、上から押し込みます。



セット後は必ず上から押し込んで下さい。

7

上蓋をし、ボトルから本体のタンクに給水される音を確認します。



8

冷温水が注水口から出ることを確認してください。温水は空気抜きのため水がでるまで多少時間がかかります。(約1分)
(初回のみ各コップ2杯程度捨ててください)



9

給水されたことを確認後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

(床置タイプのみ冷水ランプが緑色に点灯します)



10

背面の温水スイッチを入(ON)にします。

(床置タイプのみ温水ランプが赤色に点灯します)



11

約40分後には、冷水、温水とも使用できます。



5~8℃(冷水) 80~90℃(温水)

2回目からはボトル交換だけでOKです。

設置の仕方①～⑦の繰り返し

設置前の確認をしましょう!

1

まず最初に、ウォーターサーバーの背面部分にあります小窓パネルをつないでいるネジがあるのでご確認ください。確認できたら、プラスドライバーでネジを左回しにして外してください。小窓パネルを戻す時は、きっちりとお締めください。

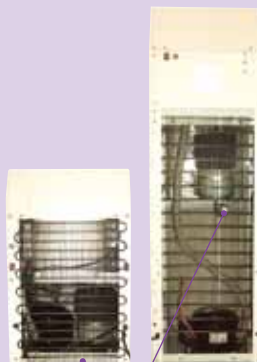
2

次に小窓パネルをゆっくりと下に押し下げて外してください。無理に引張ったりすると破損の恐れがありますのでやめてください。給水ホースがあることを確認してください。しっかりと給水口と給水タンク(冷水タンク)とが繋がっているか確認してください。給水ホースがねじれていたり折れ曲がっていないか確認し、調整してください。また、給水タンク(冷水タンク)の蓋がきっちりとはまっているか、ホースの留め金具がしっかりついているかも同時に確認し、調整してください。

ウォーターサーバーの運送途中で、ネジの緩みやホースが外れたりする場合があります。その場合、設置時に水が漏れたり、異音が生じたり、漏電・故障等の原因となりますので必ずご確認ください。

3

ウォーターサーバー(床置タイプ)背面部分のコンデンサー(網部分)から、温水タンクの排水口が出ていますので、そのキャップがしっかり締まっているかを確認してください。(卓上タイプは底面にあります)この排水口は基本的に長期間のご利用停止や引越しなどの移動をする場合に、いったん排水するためのキャップですのできっちりと締めておいてください。緩んでいますと水漏れの原因となります。



排水口キャップ

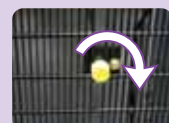


写真:床置タイプ
時計回りに回しますと締まります。
※卓上タイプは底面にあります。

正しい使い方

冷水・温水を出すとき

温水は、最初に上部にある赤いボタンを押ししながら下のレバーを押すと温水が注水されます。冷水は、レバーを押すだけで注水されます。

(レバーが戻るときの反動でコップが割れる恐れがあります)



安全装置

温水レバーを押すだけでは、注水されません。温水レバーを押さえて、その上のボタンを同時に押すことで注水されます。



水受け皿

写真(下)のように容器の手前の穴に親指を差し込み手前に引くと簡単に取り外すことができます。(中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください)



ボトル交換の目安と注意点



内部図面

- 空になったボトルは、ボトルホルダーに入れたままウォーターサーバーから引き抜いてください。絶対にボトルのみを抜かないでください。水漏れの原因になります。
- 交換時には電源と温水スイッチは切らないでください。
- ボトルホルダー内の水が残っていても、お湯が出なくなったときは水の交換の目安です。この時冷水タンク内にはそれぞれ約1.5ℓほど残水しております。初回はボトルの水の減りが早いと思われそうですが、実際の使用量は約9ℓです。冷水はそのままでもご利用いただけますが、温水は次のボトルを差さないと出ない仕組みになっておりますのでご注意ください。2回目以降は初回のような減り方はしませんのでご安心ください。